

※ 応募は小学生・中学生に限ります

応募締め切り  
2016年  
1月20日

みんなで作る

# 「北海道しめっちカルタ」

よみ札、取り札、だいぼしゅう！



あなたの大好きな  
湿地の生きものや風景  
をカルタに！

優秀作品には  
とっておきの  
「湿地のめぐみ」  
プレゼント！

北海道をまわる  
原画展  
も開催します！

北海道しめっちカルタは、道内13のラムサール湿地の現場で日々奮闘する関係者による「北海道ラムサールネットワーク」がお送りします。「湿地への招待」（北海道新聞社）もよろしくね。

# 「北海道しめっちカルタ」のつくりかた

【募集内容】 北海道の湿地の生きものや暮らしにちなんだ読み札と取り札（絵札）

【応募締切】 2016年1月20日（当日消印有効）

【賞品】 優秀賞と道内13箇所のラムサール湿地から特別賞を贈呈

【応募方法】 応募に必要なものをそろえて、お近くの湿地センター（※1）にお持ちいただくか、指定の住所（※2）までお送りください。

※1 日本野鳥の会 ウトナイ湖サンクチュアリ、日本野鳥の会 鶴居・伊藤タンチョウサンクチュアリ、霧多布湿原センター、厚岸水鳥観察館、濤沸湖水鳥・湿地センター、宮島沼水鳥・湿地センター、根室市春国岱原生野鳥公園ネイチャーセンター、別海町野付半島ネイチャーセンター、浜頓別クッチャロ湖水鳥観察館、サロベツ湿原センター、大沼ラムサール協議会（南北海道大沼婦人会館内）

※2 〒072-0057 北海道美唄市西美唄町大曲3区 宮島沼水鳥・湿地センター

【応募条件】 応募は小学生と中学生に限ります。一人何作品でも応募できますが、作品は自分のオリジナルのもので未発表のものに限ります。

【結果発表】 特設ウェブサイト（<https://wetlandkaruta.wordpress.com/>）にて結果を発表します。また、札幌や各ラムサール湿地にて、応募作品を展示する原画展を開催する予定です。

【注意事項】 応募作品の使用権は北海道ラムサールネットワークに帰属します。応募された作品は、特別な事情がない限り返却しません。応募いただいた読み札は、頭文字の調整のため加筆修正する場合があります。応募いただいた個人情報は、本募集の目的以外に利用いたしません。

【問い合わせ先】 宮島沼水鳥・湿地センター（担当：牛山克巳）  
電話 0126-66-5066、メール [mwwc@dune.ocn.ne.jp](mailto:mwwc@dune.ocn.ne.jp)

## 北海道しめっちカルタ 応募用紙

名前 \_\_\_\_\_

学校名・学年 \_\_\_\_\_

読み札の句 \_\_\_\_\_

\_\_\_\_\_

\_\_\_\_\_

連絡先 \_\_\_\_\_

住所 \_\_\_\_\_

電話番号 \_\_\_\_\_

メールアドレス \_\_\_\_\_

## 1) 読み札の作り方

・始まりの字句は50音のどの文字で始まっても構いません。・俳句調（五・七・五）に限らずどんなフレーズでもOKですが、25文字以内に収めるようにしてください。・テーマに困ったら「しめっちキーワード」を参考にしてください。

## 2) 取り札の作り方

・ハガキなどA4までの大きさの用紙を使用して、読み札にあった絵を描いてください。・絵の具、色鉛筆、クレヨンなどで、なるべくはっきりと色を塗ってください。・カルタの大きさを印刷されることを考えて、のびのびと描いてください。・作品の左上に読み札の頭文字を挿入しますので、そのことを計算してデザインしてください。

## 3) 応募に必要なもの

- ①読み札の句、名前、学年、学校名、連絡先の住所・電話番号・メールアドレスが書かれた応募用紙。
- ②取り札の絵

### 【しめっちキーワード】

読み札と取り札は、しめっちキーワードを参考に、あなたの大好きな湿地の風景や生きものをイメージして自由に作ってください！

- 湿地の種類や地形  
川、湖、沼、池、湿原、干潟、藻場、田んぼ、ヨシ原、谷地まなこ、谷地ぼうず、泥炭地、河畔林、温泉、流氷、砂浜…など。サラ（＝湿地）などのアイヌ語、石狩川などの地名でももちろんOKです！
- 湿地の生きもの  
両生類（エゾアカガエルやエゾサンショウウオ）、水辺の昆虫（トンボの仲間、カゲロウの仲間、ゲンゴロウの仲間など）、水鳥・渡り鳥（タンチョウ、ハクチョウ、オジロワシ、オオジシギ、アカエリカイツブリなど）、魚（ワカサギ、サケ、チョウザメなど）、水辺の動物（サケを捕るヒグマ、アザラシなど）、貝、エビやカニ、など。
- 湿地の植物  
湿原の草花（ミズバショウ、エゾカンゾウ、ヒメシヤクナゲ、アッケシソウなど）、水草（ヨシ、ガマ、ヒシ、コウホネなど）、水辺の木（ハンノキ、ヤチヤナギ、トドワラ、ハマナスなど）、海草や海藻（アマモやコンブ）、マリモやミズゴケなど。
- 湿地の食べ物や遊び  
魚介類（ホッカイシマエビ、シジミ、レイクロブスターなど）、釣りや漁（潮干狩り、氷下待ち網漁など）、生活の道具（サケの皮で作る靴「ケリ」など）、料理（ワカサギのいかだ焼きなど）、レクリエーション（川下り、海水浴、ダイビングなど）など。
- 湿地の問題と湿地を守る活動  
外来種（ウチダザリガニ、トノサマガエル、オオハンゴンソウなど）、富栄養化、開発、鳥インフルエンザ、洪水、磯焼け、食害、ゴミ拾い、ラムサール、ワイズユースなど。